

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年四月度 入選句（投稿総数千九百四十九句・一般投句数七百七十五句）

特選

選者 大橋 庄一郎

臥す母に見せたき今日のこの桜

大垣市

新町 恵子

今年の三月末四月始めの満開の桜は素晴らしかった。日本の代表的な花として國中の皆に愛されてゐる桜、お母さんに乳母車に乗せて見せてもらった桜、入園式、入学式に手を引いて連れられ見た桜、その母も今高齢の為か病身なのか臥せて居られるが、なんとか見せて上げたいと思はれる孝心は桜以上に美しいと感心しました句です。下の句が良い。

上衣手にぬいだり着たり名残り寒

大垣市

棚橋 昭子

今年の天候は四月なのに記録的な雨天と雨量で、気温も低い日が多い異常気象で、テレビの気象予報士は、夕方から寒くなりますので、それに備えた服装でお出掛けをと云つてゐる時が多かった。風邪予防・健康管理の為上衣で調整されるのはいい方法だと思います。下の句の名残り寒がいい。

葉桜や大役終えし今余生

愛知県名古屋

小松 とみゑ

蕾がふくらみ花開き、三月末から四月始めにかけ満開となり、期間は短いが多くの人々を喜ばせ、奇麗だ美しいと誉められ、やがて雨に打たれ、風に吹かれて落花となり、今は大役を終えて余生を送つてると、人の一生に例えられた如く上手に纏められた佳句である。毎年一生を繰返す如き桜が幸か、人間の様に満開も老後余生も一度しか味わえないのがいいのか考えさせられました。

秀逸

つりびなや飾る旧家の細き路地

大垣市

小川 ゆき恵

父祖よりの鎌の切れ味春田打つ

大垣市

森川 きよ子

伊吹背に大空泳ぐ鯉幟

安八郡神戸町

早津 郁男

華やぐる墨俣宿の吊しびな

安八郡神戸町

高橋 日出美

園児らのめちや美味しいと山東菜

大垣市

伊藤 有紀

大鉢に目を奪はれる盆梅展

不破郡垂井町

小畑 美智子

花冷えや厠へ列の道の駅

大垣市

喜田 守

耐えてこそやがて艶づく木の芽かな

不破郡垂井町

田中 不二夫

ワイパーで払ひ落とすに惜しき花

大垣市

高田 雅章

青き踏む鞆に地図と握り飯

神奈川県横浜市

龍野 ひろし

入選

春の色映し川面にたらい舟  
 愛知県豊橋市 松本 幸久  
 晩酌に土筆一品添えにけり  
 大垣市 山田 千歌子  
 雛巡り童に戻る一と日かな  
 大垣市 伊藤 琴晶  
 今日だけは大法螺吹きて四月ばか  
 大垣市 宮脇 和子  
 陽気よくなればなつたで花粉症  
 大垣市 棚橋 みさを  
 あれそれで通じる二人木瓜の花  
 大垣市 吉田 てるみ  
 春愁や一人暮しの長電話  
 大垣市 久富 キヌエ  
 春寒や朽ちゆく己が五感かな  
 不破郡垂井町 竹並 朋喜  
 囀りや散歩をかねし畑めぐり  
 大垣市 村田 通夫  
 桑名へは十里の標春の水  
 不破郡垂井町 白井 梅乃

入選

自分らしく生きてゆきたい遅桜  
 大垣市 箕浦 欣子  
 合格を決めて母より前歩く  
 大垣市 矢橋 郁子  
 花見莫塵健康優良老人たち  
 大垣市 町野 眞佐子  
 卒業歌涙にぬれて式終へる  
 不破郡垂井町 児玉 信子  
 父の背で握る駄菓子や春着の子  
 大垣市 服部 聖治  
 芽柳や左京みち右きそ路  
 神奈川県川崎市 戸恒 東人  
 独り酒小鍋つゝけど春寒し  
 不破郡垂井町 田中 不二夫  
 たらひ舟棹ゆるやかに花の下  
 大垣市 傍島 豊子  
 新入生どの名もよき名よき返事  
 養老郡養老町 田中 紫香  
 高齢者部屋に百均こいのぼり  
 大垣市 中井 君子

選者吟

肩書ははずして仲間花見酒

庄 一郎